

栄養管理における多職種連携強化支援事業研修会まとめ

日時: 令和5年10月2日(月)13:30~15:45

場所: 榎原総合庁舎101会議室およびオンライン

対象者:

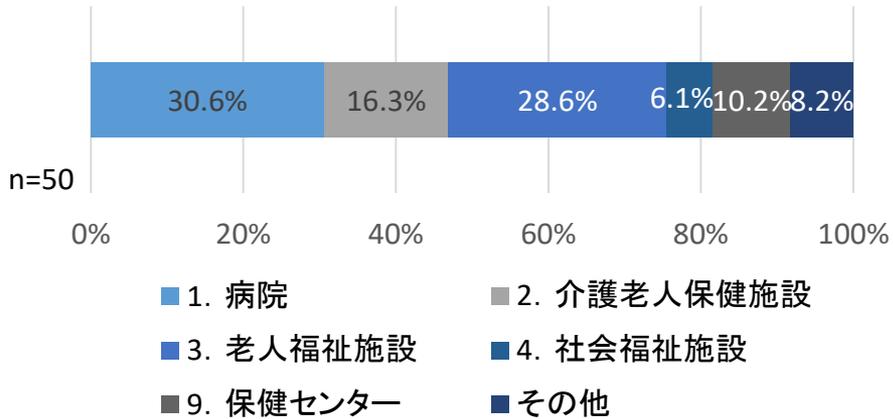
- ・「食支援」に関するアンケート対象者で研修案内希望者:35施設【中和医療圏(大和高田市、香芝市、葛城市、広陵町)の介護関連課、各施設の職員※】
- ・管内特定給食施設(病院、福祉施設):30病院、113施設
- ・東和医療圏のワーキング委員:32施設【8病院(給食施設と重複)、24施設のケアマネジャー、看護師等】
- ・管内市町村保健センター

参加者:69名(対面13名、オンライン56名)

アンケート回答率:72.5%(50名)

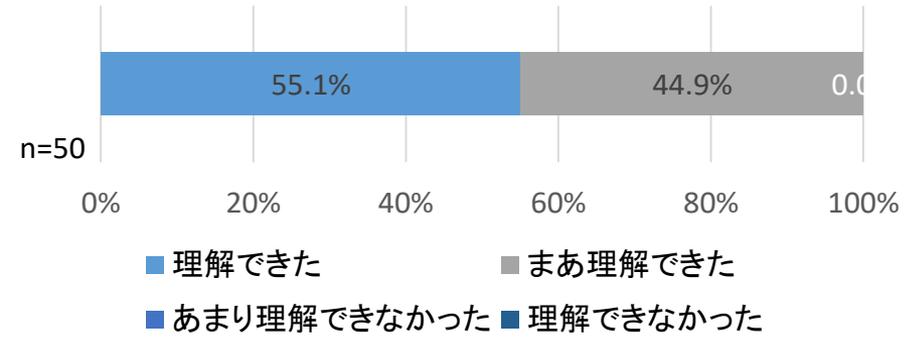
アンケート回答職種:管理栄養士・栄養士48名、その他(学生2名)

施設種別



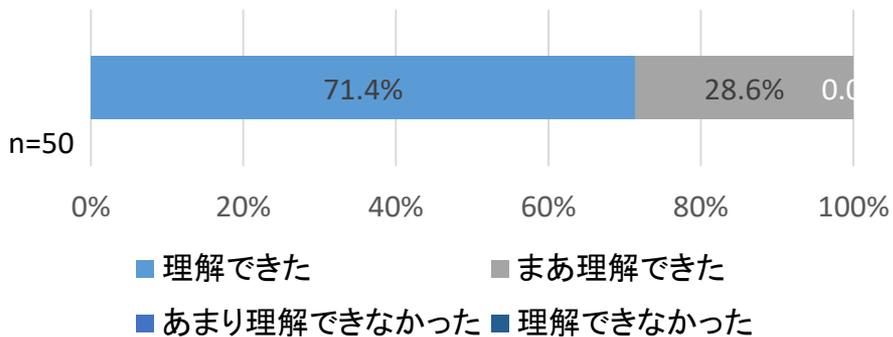
情報提供1

「栄養サマリー」運用の経緯について、アンケート調査結果や地域の栄養課題が理解できましたか。



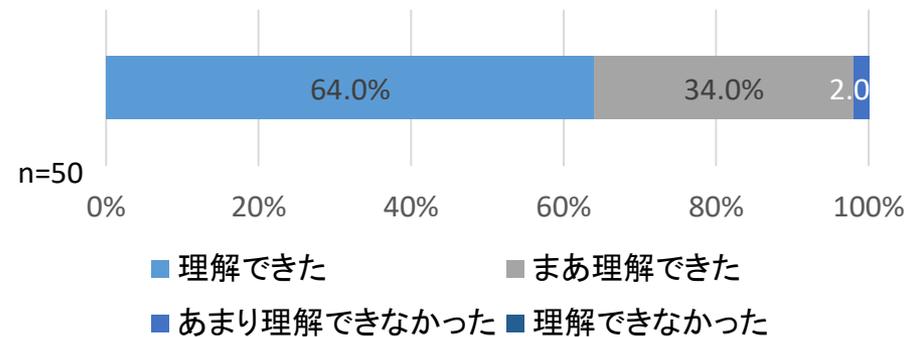
情報提供2(1)

情報提供2「フレイルについて」に関して、フレイルの概要が理解できましたか。



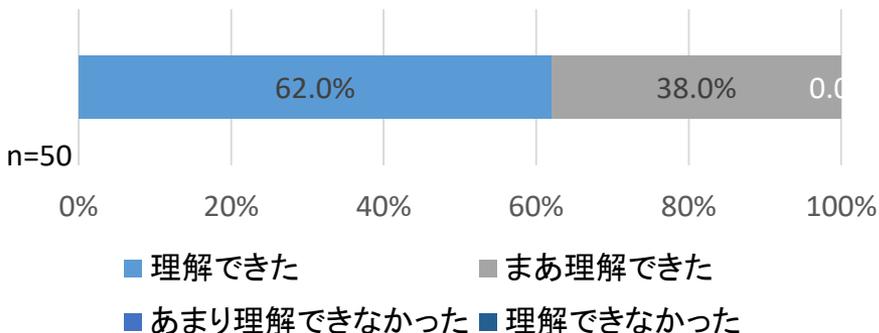
情報提供2(2)

情報提供2「フレイルについて」に関して、フレイルの要因や、予防する食事について理解できましたか。



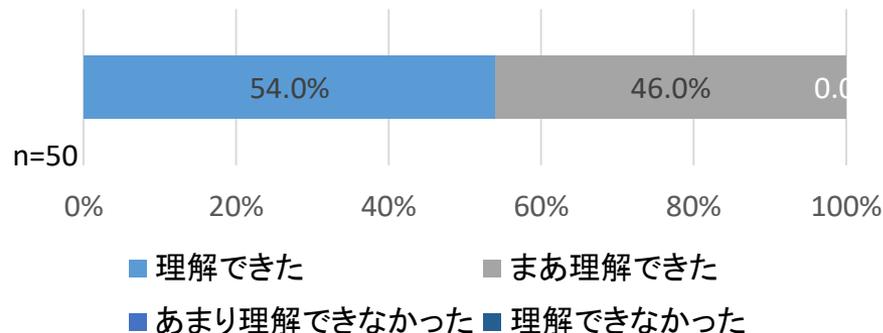
講演1

「継続した栄養管理の必要性について」に関して、在宅においても食支援を行う重要性が理解できましたか。

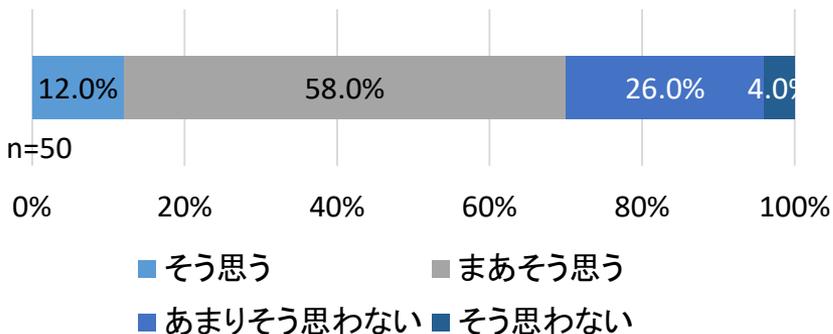


講演2

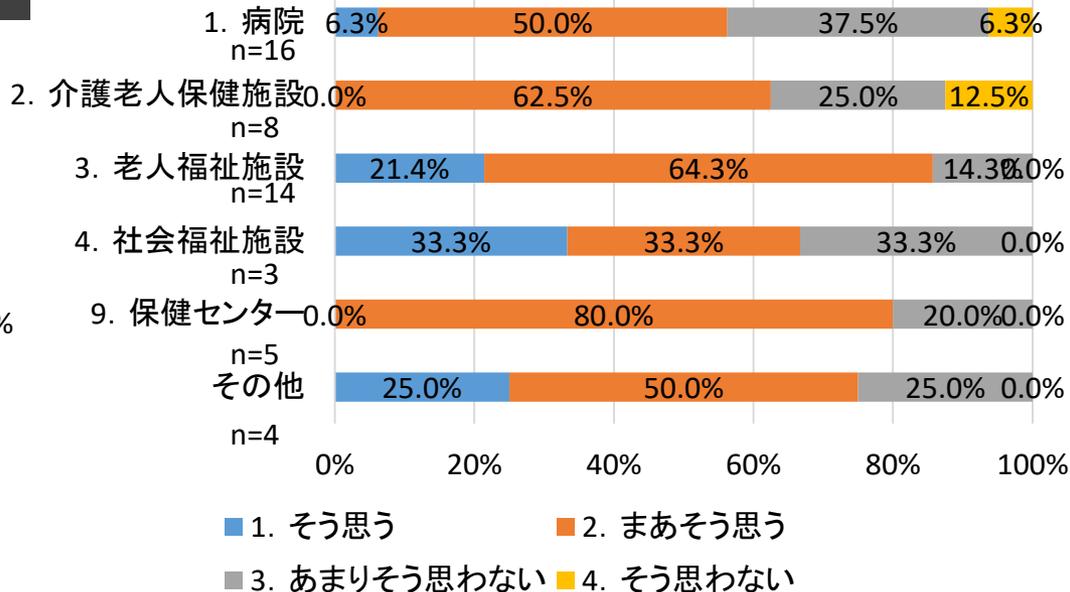
「介護保険制度における在宅栄養管理～高齢者施設管理栄養士として～」に関して、在宅で食支援が必要なケースについての具体例が理解できましたか。



意見交換会について、在宅で食支援を行う上での課題を把握、共有することができたと思いますか



意見交換会について、在宅で食支援を行う上での課題を把握、共有することができたと思いますか × 施設種別



まとめ

- 参加職種はアンケートで見ると管理栄養士・栄養士が100%であり、多職種連携強化という視点で実施した本研修会において、その他職種の参加がほとんどなかった(アンケートの回答はないが、葛城市地域包括支援センターの参加あり)。
→自由記述にも「参加対象が栄養士以外の職種だということが案内を見ただけでは分からなかった」とあり、通知文に対象者を目立つ様に記載することが必要。
- 参加施設も特定給食施設等が多く、1割程度保健センターの参加もみられた。
- 情報提供および講演について、ほぼすべての者が「理解できた」と回答しており、対象者に対して適切な内容であった。
- 意見交換会において、3割が共有することができたと思わない」と回答しており、本研修会にその他職種の参加がほとんどなかったことから、本意見交換会の趣旨は達成できなかった。
- 意見交換会で共有することができたと思ふ」と回答した割合が高い施設は、老人福祉施設や保健センターで高く、在宅のケースに関わる機会が多い施設であると考えられる。